



能登町長
持木 一茂

明けましておめでとうございます。
能登町の皆さまには、輝かしい初春を迎えられたことと、謹んでお喜び申し上げます。

日ごろ、町の発展に御協力をいただいております皆さまへ、心より感謝申し上げますとともに、今後も皆さまのご期待にこたえることができるよう、多角的で広い視野に立って、きめ細かな対応に努めてまいりたいと思っております。

さて、歴史には時代の節目というものがありません。昨年の能登町は、まさに「節目の年」であったと言えます。平成22年3月1日、能登町が誕生して5周年を迎え、「町制五周年記念式典」を催しましたところ、たく

さんの方にお祝いをさせていただきました。新町建設のスタートラインに立った日のことを思い起こし、夢と希望のある新しい町を創造して行きたいと、決意を新たにいたしました。

また、北河内ダム、宇出津港いやさか広場、新町通り線1期区間、松波地区の雨水排水函渠工事など、旧町村のころより皆さまの悲願であった大型プロジェクトが次々と完成を迎え、憩いの空間の創出や、地域の防災・利便性の向上が図られました。能登町創成期とも言える5年間を終え、次のステップであります成長期、成熟期へ進んでいくためにも、住民の皆さまとの絆をより固くし、総力をあげて一歩前へ、さらに一段上へ進ん

でまいりたいと思えます。

この五十数年の間、わが国は奇跡的とも言われる高度経済成長を成し遂げ、現在に至るまで激動と呼ぶにふさわしい時代が続いております。国内では、政権交代後二人目の首相が誕生、各種施策の見直しが継続され、世界では新興国の台頭、先行きの読めない東アジア情勢など、遠くで私たちの生活に直結する事件、出来事が起こり、日本の斜陽化を唱える方もいます。

しかし、日本の経済規模、技術力などが悲観するレベルにまで落ちているわけではなく、元来、数々の国難を乗り越えた底力を秘めているはずで、能登町の皆さまも同様に、無

限のパワー、無限の可能性を

お持ちです。昨年のねりんピク石川では、スタッフの団結力とこぼれる笑顔で、元気な能登町をアピールしていただきました。この元気がある限り、明日の能登町は明るく、やりがいのある町に育てる可能性は十分にあると確信しております。

本年は、生活環境・教育環境の整備、土地の有効活用など、取り組むべき施策に「生きた投資」を行い、町の皆さまにとつての福祉向上になることは何か、利益になることは何かを常に考え、行動する所存です。

結びに、本年が皆さまにとりまして輝かしく健康な一年でありますようお願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。



能登町議会議員
久田 良平

明けましておめでとうございます。
町民の皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げますとともに、日

ごろから町政の推進に温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。
昨年、能登町では「町制五周年記念式典」や皆さまの長年の願いであった「新町通り線1期区間 宇出津港いやさか広場」、北河内ダム「やませみ湖」の完成式が行われ、多くの住民・関係者の皆さまと喜びを分かち合うことができ、大変有意義な一年であったと思えます。

そして10月には能登町議会議員選挙が執行され、議員定数2人減の18人で新たなスタートを

切っておりますが、議会の活動原則は何か、議員活動の原則は何か、町との連携をどのようにしていくかなど、取り組むべき課題は数多くあるものと思っております。

一方、国では政権交代後二人目の首相の誕生や参議院・参議院が「ねじれ国会」となるなど国内外の政治・経済・社会情勢の変動により、私たちの生活にも大きく影響が現れました。

本町においては、行財政改革の取り組みなどにより財政状況の改善はみられるものの、町税収入や地方交付税の伸びなどは見込めず、平成23年度当初予算においても財源の確保と持続可能な財政基盤の確立が急がれて

います。

このような状況の中、議会として民意を施策に反映させていくことの重要性がより一層求められていると感じています。

住民福祉の向上はもとより、地方自治発展のため町民の皆さまのご意見やご提言をいただき、町民の皆さまと町・議会が協働してまちづくりを進めていくことができますよう、さらなる努力をさせていただきます。

最後に、町民の皆さまのご健康と本年が夢と希望に満ちた一年でありますよう心からお祈り申し上げますとともに、今後ともなお一層のご支援とご協力をお願いし、新年のごあいさつとさせていただきます。

謹賀新年

成人式



- 20歳の門出を祝う能登町成人式が次の日程で開催されます。
- 〔日時〕平成23年1月9日(日)午前10時30分～(受付10時)
- 〔場所〕内浦第2体育館
- 〔対象者〕平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれの能登町内中学校卒業生および能登町在住者
男・142人 女・126人 計268人
- ※名簿は広報誌への掲載を希望した人
(お願い) 新成人者へのお祝いの祝電や花束などは、式典会場では受け付けできませんので、ご自宅へお届けください。
- 鶺鴒中学校**
- | | | | |
|------|------|-------|-------|
| 赤阪祐美 | 川崎美紀 | 藤田 舟 | 船本あずさ |
| 善野功太 | 谷政彩香 | 真智美穂 | 南 滉太 |
| 釣谷祐太 | 鶴野舞子 | 山城太一 | 森屋菜穂 |
| 寺下将司 | 天幸和司 | 芳野知寿子 | 吉岡 優 |
| 馬場志織 | 松浦瑞希 | | |
| 丸谷幸代 | 宮崎翔平 | | |
| 宮崎裕子 | 森 一生 | | |
| 谷内智裕 | | | |
- 能都中学校**
- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| 石上拓郎 | 岩本佑太 | 中澤友里 | 中谷昌央 |
| 上田早智 | 大熊直生 | 中町美香 | 中町由香 |
| 大谷敏之 | 岡橋彩花 | 中谷内祐美 | 西出佳祐 |
| 数馬慧祐 | 川 裕兵 | 野口茉衣 | 羽根大地 |
| 川崎祥二 | 川端 郁 | 濱岸正考 | 濱中 克 |
| 坂口直也 | 酒屋大輔 | 濱野知佳 | 久田倫子 |
| 笹川奈瑛 | 佐々木太郎 | 久山紘毅 | 廣田麻菜 |
| 四家万智 | 脊戸郁弥 | 藤本優香 | 堀井沙耶 |
| 高田友里絵 | 高剛勝也 | 本蔵祐樹 | 前田涼生 |
| 瀧田麻衣 | 田中千晶 | 水島有里 | 道中 優 |
| 寺下伸芳 | 寺下美姫 | 南山大樹 | 谷内 円 |
| 天吞友紀 | 堂野博樹 | 矢野奈々子 | 敷下晃拓 |
| 堂野真澄 | 堂前拓也 | 山本綾香 | 山本理愛 |
| 時長真由美 | 富 晴菜 | 吉村友之 | 吉村春奈 |
| 中 善弘 | 長尾元希 | 吉村美希 | 鷲竹未来 |
| | | 輪島しお梨 | |
- 松波中学校**
- | | | | |
|-------|-------|------|------|
| 生森志穂 | 浦下なつみ | 寺下友寿 | 堂間敬之 |
| 大下真純 | 大友裕介 | 中谷奈央 | 中谷春樹 |
| 大平賢志 | 大鷲真翔 | 西中竜馬 | 西原未希 |
| 大形彩美 | 大形 航 | 新田真之 | 萩野亜未 |
| 鍛冶谷実夏 | 梶山知巳 | 濱下翔吾 | 福地健太 |
| 加原慎太郎 | 川端祥平 | 藤田仁美 | 藤田まみ |
| 川向貴大 | 神田知世 | 潤口歩美 | 宮下竜也 |
| 北口和哉 | 北野佳奈 | 宮野春菜 | 室峰 歩 |
| 木村美香 | 玄田啓太 | 谷内茂幸 | 敷下修司 |
| 小坂由紀子 | 坂井新九郎 | 脇延 健 | 山瀬康平 |
| 坂下佳芳里 | 坂森圭一 | 脇延 健 | 和田優希 |
| 澤石 都 | 澤元怜介 | | |
| 新出優太 | 諏訪 恵 | | |
| 竹端 将 | 竹元 涼 | | |
| 田中英樹 | 鉄重元志 | | |
- 瑞穂中学校**
- | | | | |
|-------|-------|-------------|------|
| 浅田実花 | 大根谷祐也 | 西 康生 | 丹羽小夏 |
| 川端光明 | 吉坂春香 | 東 世宗 | 福田正祥 |
| 木村昌史 | 下島慎也 | 二又 開 | 二又 拓 |
| 谷口美保 | 徳田麻衣 | 本蔵汐海(旧姓・国重) | 干場 徹 |
| 畠中さゆり | 山崎純子 | 政田麻美 | 水口敬太 |
| 山本麻耶 | | 南 陽香 | 向峠 旭 |
| | | 本谷 圭 | 森田孝幸 |
| | | 山瀬千尋 | 山本将人 |
- 柳田中学校**
- | | | | |
|-------|------|--------------|--|
| 飯田貴史 | 飯山宗子 | アグスティアワン | |
| 池崎千佳子 | 岩崎香織 | アブドラ ハミド | |
| 上野和音 | 打込鉄馬 | イマム ゴザリ | |
| 金屋さくら | 吉鎌恵美 | イルハム アプリアディ | |
| 木村宥斗 | 紺谷剛治 | イルファン サンジャヤ | |
| 坂 威武希 | 境谷駿一 | イワン セティアディ | |
| 坂上智大 | 坂下眞一 | カトブ | |
| 坂元裕也 | 修田康成 | サンディ ヤナ | |
| 新出恭平 | 杉田喜樹 | シャエフル アンワル | |
| 竹尻奈々 | 玉木宏美 | シルジャヤ レクサナ | |
| 俵谷悠希 | 堂坂英隆 | チャールヨ セティヤワン | |
| 刀祢洋映 | 中谷優司 | チャーヨノ | |
| | | ツンガル プラセテヨ | |
| | | テグ ウィドド | |
| | | デリ ユスワンディ | |
| | | トリ ヤント | |
| | | トリヤス パオジ | |
| | | モハマド ジャマルディン | |
| | | フィルドス | |
| | | ワーユ ダルマント | |
| | | ワーユディン | |

能登町 東海大学 包括的な提携に関する協定調印



協定書を取り交わし握手を交わす持木町長と田中康夫氏(東海大学学長代理=写真中央)、立会人の谷内治朋氏(能登町地域活性化推進協議会会長)

能登町と東海大学が提携。 地域活性化と教育・研究の 発展を目指します。

能登町と東海大学(神奈川県平塚市)は、地域の活性化と教育・研究の発展を図ることを目的に、相互の交流を深め連携していくことで合意。12月17日に包括的な提携に関する協定を締結しました。

今回の提携は、町の交流人口拡大などを目的に大学ゼミの誘致に取り組み「能登町地域活性化推進協議会(谷内治朋会長)の働きかけにより実現しました。

能登町で行われた調印式には町、大学、協議会関係者ら12人が出席。谷内治朋協議会長の立ち会いのもと、持木一茂町長と東海大学の田中康夫学長代理が協定書に署名と押印をしました。

今後の具体的な内容については、町と東海大学の双方で協議し決定していくという事です。



持木一茂能登町長

東海大学は、海洋学部や観光学部などを有する国内有数の総合大学です。今後は多様・高度化するさまざまな分野の地域課題解決に向けて、町と大学が相互に密接な連携と協力を行うことにより、住民の皆さんと一緒に地域活性化を図っていきたく考えています。



田中康夫東海大学学長代理

今回、日本海側の地域との交流は初めてとなり、非常にうれしく思っています。

東海大学の使命として①教育②研究③社会貢献④国際貢献の4つを掲げています。今後は能登に大学の知的財産を還元できるような社会貢献と日本海側ということによって中国や韓国を視野に入れた国際貢献ができるのではないかと期待しています。



谷内治朋能登町地域活性化推進協議会会長

3年前にこの協議会を立ち上げ、能登町の活性化のために何をすれば良いか真剣に考えてきました。協議会を町で認定していただき、いろいろな大学や国などに働きかけてきた結果が、こういう形で実を結んだことに感激しています。

この協定が第一歩であり、これからが本番だろうと考えています。今後ともよろしくお願ひします。

町在住者

- | | |
|--------------|------|
| 西 康生 | 丹羽小夏 |
| 東 世宗 | 福田正祥 |
| 二又 開 | 二又 拓 |
| 本蔵汐海(旧姓・国重) | 干場 徹 |
| 政田麻美 | 水口敬太 |
| 南 陽香 | 向峠 旭 |
| 本谷 圭 | 森田孝幸 |
| 山瀬千尋 | 山本将人 |
| アグスティアワン | |
| アブドラ ハミド | |
| イマム ゴザリ | |
| イルハム アプリアディ | |
| イルファン サンジャヤ | |
| イワン セティアディ | |
| カトブ | |
| サンディ ヤナ | |
| シャエフル アンワル | |
| シルジャヤ レクサナ | |
| チャールヨ セティヤワン | |
| チャーヨノ | |
| ツンガル プラセテヨ | |
| テグ ウィドド | |
| デリ ユスワンディ | |
| トリ ヤント | |
| トリヤス パオジ | |
| モハマド ジャマルディン | |
| フィルドス | |
| ワーユ ダルマント | |
| ワーユディン | |

小・中学校の教育環境に関するアンケート調査結果

子どもたちにとってどのような教育環境が望ましいか。能登町教育委員会では、適正な規模の学校を適正に配置するため、保育園児・小学生・中学生をもつ保護者や児童生徒、教職員の考えを把握するアンケート調査を実施しました。今回は、学校規模に関する国の基準などと共に、平成22年1月に実施した調査結果の一部についてお知らせします。



1. 学校規模に関する国の基準等

◆国の基準

- 小学校の標準学級数：12～18学級（1学年あたり2～3学級）
- 中学校の標準学級数：12～18学級（1学年あたり4～6学級）
- 1学級あたりの人数：40人以下
※小学1・2年は30人、それ以外は35人学級へ移行予定
- 小学校は複数学年が16人以下になると複式学級
※ただし、小学1年生を含む学級にあっては8人以下
- 中学校は複数学年が8人以下になると複式学級

◆石川県の基準

- 1学級35人を超える小学校1、2年は2学級とすることができる。
- 1学級35人を超える中学校1年は2学級とすることができる。

2. アンケート調査の対象者

この調査は、保育園児・小学生・中学生をもつ保護者世帯1,454世帯、町内の小・中学校に勤務している教職員132人、在学する小学5、6年生および中学生776人を対象としました。

3. アンケートの回収率

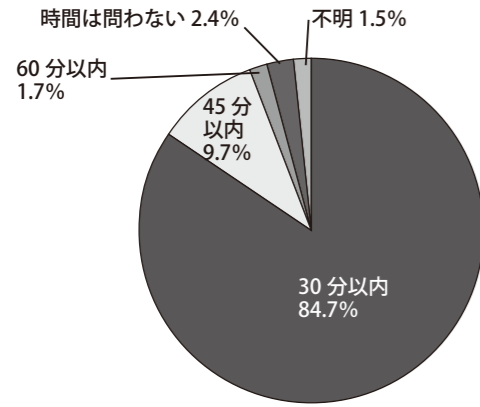
	保護者世帯	教職員	児童・生徒
配布枚数	1,454	132	776
回収枚数	1,244	126	758
回収率	85.6%	95.5%	97.7%

能登町立小・中学校児童生徒数

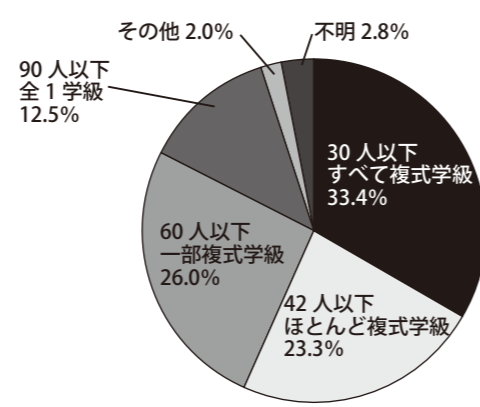
※ H22.11.1 現在、上段：児童生徒数、下段：学級数

	1	2	3	4	5	6	計	H28推計
柳田小	23	27	26	31	28	27	162	130
宇出津小	37	36	27	40	47	44	231	186
真脇小	4	7	4	3	8	8	34	30
鵜川小	7	9	10	11	21	9	67	65
小木小	17	13	16	18	18	18	100	71
松波小	23	28	30	26	33	25	165	123
小学校計	111	120	113	129	155	131	759	605
柳田中	26	25	36				87	76
能都中	55	56	70				181	115
鵜川中	10	16	17				43	26
小木中	16	28	19				63	46
松波中	28	22	42				92	81
中学校計	135	147	184				466	344

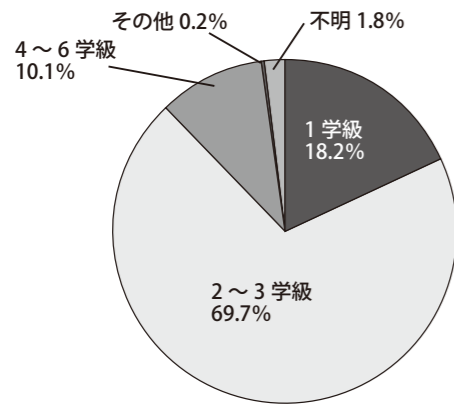
(3) 小学生の望ましい通学時間



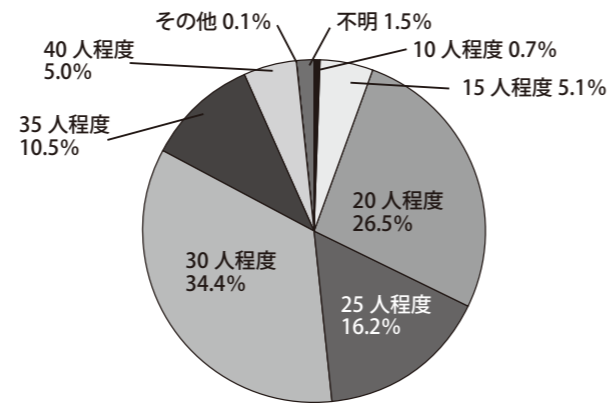
(4) 小学校の統合を進める目安（全校児童数）



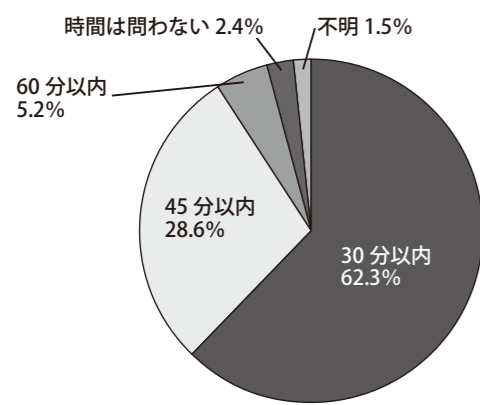
(5) 中学校1学年あたりの望ましい学級数



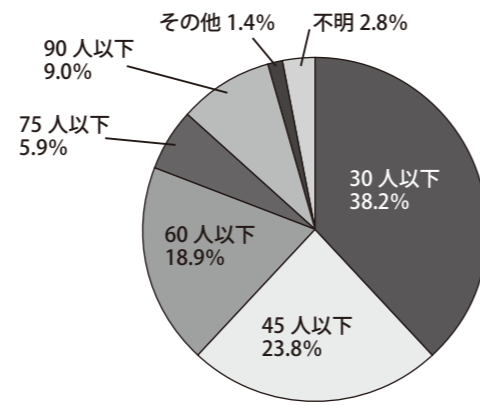
(6) 中学校1学級あたりの望ましい生徒数



(7) 中学生の望ましい通学時間

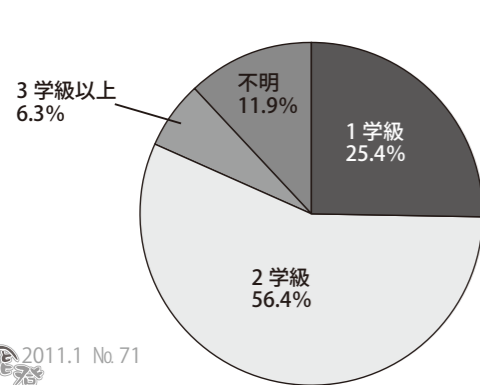


(8) 中学校の統合を進める目安（全校生徒数）

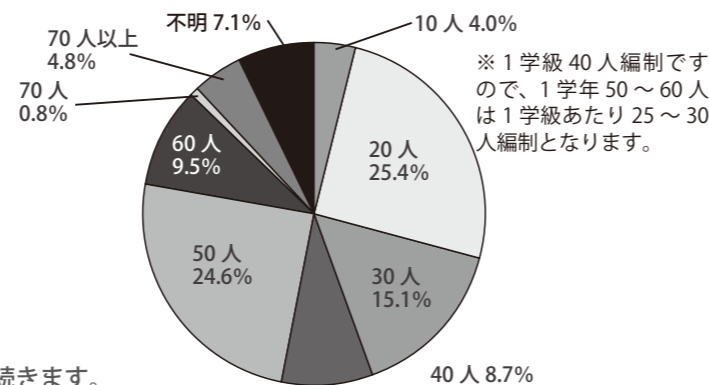


5. アンケート調査結果【抜粋】（教職員）

(1) 小学校1学年あたりの望ましい学級数

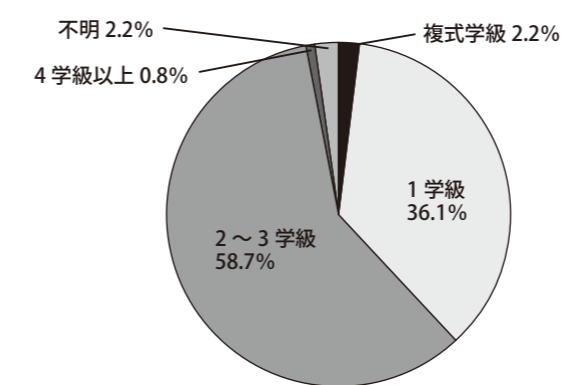


(2) 小学校1学年あたりの望ましい児童数

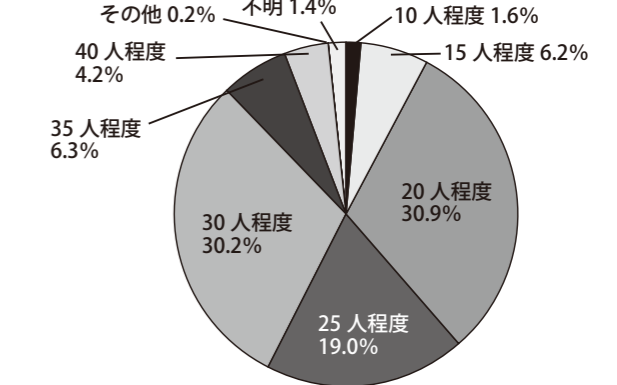


4. アンケート調査結果【抜粋】（保護者）

(1) 小学校1学年あたりの望ましい学級数

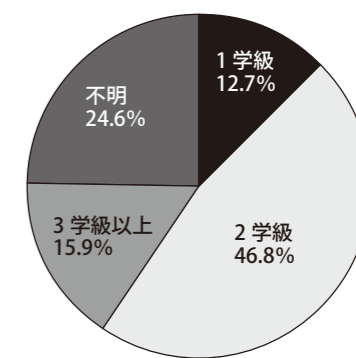


(2) 小学校1学級あたりの望ましい児童数

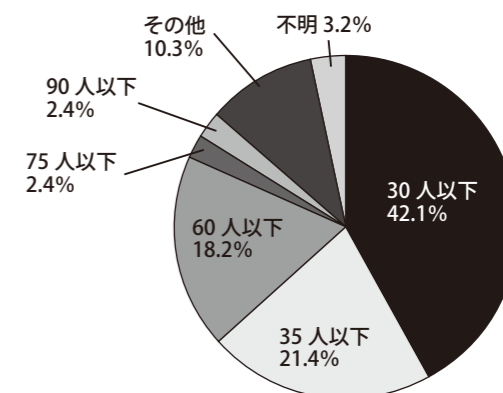


◆次ページに続きます。

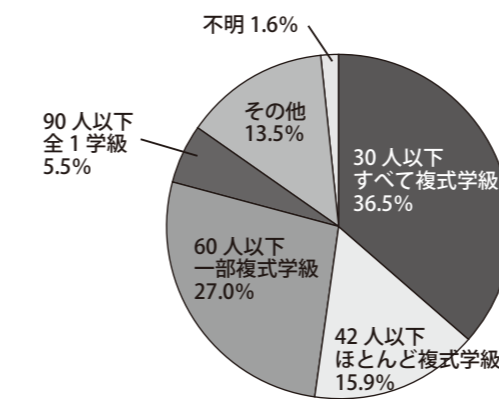
(4) 中学校1学年あたりの望ましい学級数



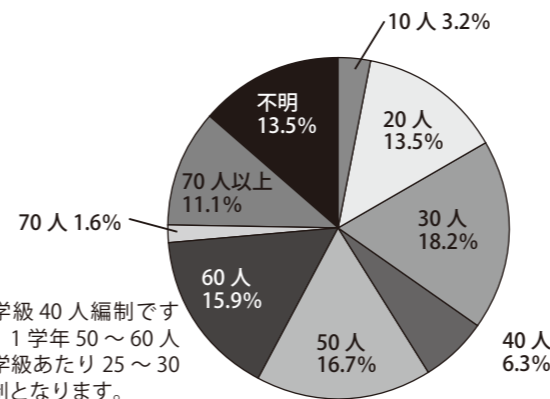
(6) 中学校の統合を進める目安(全校生徒数)



(3) 小学校の統合を進める目安(全校児童数)



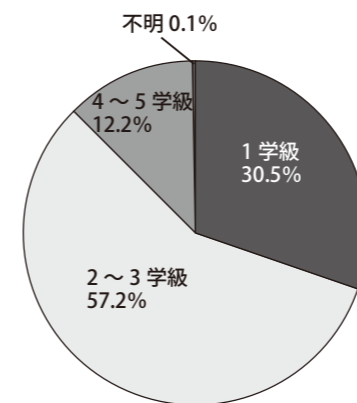
(5) 中学校1学年あたりの望ましい生徒数



※1学級40人編制ですので、1学年50～60人は1学級あたり25～30人編制となります。

6. アンケート調査結果【抜粋】(児童・生徒)

1学年あたりの望ましい学級数



あなたのご意見をお寄せください

能登町学校適正配置推進本部(町長部局・教育委員会)では、今後皆さんからのご意見をお聞きし「学校適正配置基本方針及び実施計画」(案)を策定します。

この学校適正配置についてのご意見を教育委員会事務局までお寄せください。

学校適正配置に関する資料については、能登町ホームページ(<http://www.town.noto.lg.jp>)をご覧ください。

〈募集期間〉平成23年1月4日(火)～1月24日(月)

☎教育委員会事務局 ☎72-2509



議 会

能登町議会第4回定例会は12月9日に招集されました。会期を15日までの7日間と定め、平成22年度一般会計補正予算や条例改正など町長提出議案30件が上程されました。

持木町長が提案理由を述べたあと、8人が議案について質問しました。その後、各議案と請願2件は各常任委員会に付託されました。

■可決された議案

〔平成22年度予算12件〕
一般会計補正予算(第5号)▼
歳入歳出それぞれ3億9489

万3千円を追加し、予算総額を143億9043万3千円とする。事業費の変更や確定、道路の防災対策事業費などの追加、人件費の減額など

有線放送事業特別会計補正予算(第1号)▼76万円を減額

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)▼保険事業勘定に133万8千円を追加し、直営診療施設勘定に6千円を追加

後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)▼140万9千円を追加

介護保険特別会計補正予算(第2号)▼保険事業勘定を137万4千円減額し、サービス事業勘定を98万6千円減額

公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)▼337万2千円を追加

農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)▼59万3千円を追加

漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)▼136万8千円を減額

浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第2号)▼118万7千円を追加

簡易水道事業特別会計補正予算

(第1号)▼276万円を追加水道事業会計補正予算(第2号)▼収益的収支を29万円減額
病院事業会計補正予算(第1号)▼収益的収支を89万8千円減額

職員(宇出津)に指定する
公の施設の指定管理者の指定について(宮地宿泊交流所こぶし)▼NPO法人コブシ(宮地)に指定する

公の施設の指定管理者の指定について(福光堆肥センター)▼能登町酪農生産組合(瑞穂)に指定する

公の施設の指定管理者の指定について(秋吉緑地健康広場)▼秋吉町内会長に指定する
公の施設の指定管理者の指定について(能登町農林産物処理加工施設)▼農事組合法人のと夢づくり(柏木)に指定する
公の施設の指定管理者の指定について(程谷緑地健康広場)▼程谷町内会長に指定する

7. アンケートの傾向

① 1学年あたりの望ましい学級数

保護者からみた小学校の1学年あたりの学級数は、【2～3学級】とする割合が60%近くを占めています。児童生徒、教職員においても60%近くを占め、保護者・児童生徒・教職員ともに【2学級以上】を小学校の望ましい学級数とする傾向があります。

中学校でみると保護者の場合は【2～3学級】とする割合が70%。教職員においても60%を占め、保護者・教職員ともに【2学級以上】を中学校の望ましい学級数とする傾向にあります。

② 1学級あたりの望ましい児童生徒数

保護者からみた小学校の1学級あたりの児童数は【20～30人程度】とする割合が全体の80%近くを占めています。教職員においても75%を占め、保護者・教職員とも【20～30人程度】を望ましい児童数とする傾向にあります。

中学校でみると保護者の場合は【20～30人程度】とする割合が全体の80%近くを占めています。教職員においても65%近くを占め、保護者・教職員とも【20～30人程度】を中学校の望ましい生徒数とする傾向があります。

1学級あたりの人数については、現行の40人編制よりも少ない人数が望ましいとする一方、中学校より小学校の方を少人数とする傾向にあります。

■採択された請願2件

TPP交渉に関する請願について▼TPP交渉に参加することのないよう政府関係機関に意見書の提出を求める
保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書採択について▼医療費の総枠を拡大し、保険でより良い歯科医療を確保するため、国および政府に意見書の提出を求める